

イギリスの SRI ウィーク

株式会社グッドバンカー
リサーチチーム

フランスの SRI ウィークに続いてイギリスでも同じようなイベントが開催されました。こちらはグッドマネーウィークと呼ばれています。開催期間は 2014 年 10 月 19 日～25 日、場所はロンドンでイギリスの SRI 関係者の集まりである UKSIF が主催し、年金基金や運用会社、保険会社、英国国教会などがスポンサーです。また、イギリス政府もサポートしているとのこと。

このイベントの目的は、環境・社会的責任・倫理を考慮した経済活動に対して人々の意識を高めるためのキャンペーンを行い、人々がより良いお金の使い方をできるように助けることです。誰でも参加でき、特に若者を歓迎しています。

もともとイギリスでは、2008 年から国を挙げてのイベントとして、倫理的投資ウィークがありました。これまでのこの活動を通して環境配慮投資や SRI 一般、また気候変動リスクへの認識が高まり、その結果、再生可能エネルギーへの投資が活発になり、小規模企業への個人の投融資であるクラウドファンディングなども進みました。つまり民間資金の動員に成功したのです。

この実績をもとに今後は投資活動についてより広い視野で人々に考えてもらおうと、グッドマネーウィークと名称を変え、新たな活動をスタートさせることにしたのだそうです。

参加する組織によって会議・ディベート・ミーティングなどが連日開かれましたが、その中には、Sustainable Spending Scorecard(環境や社会に配慮した支出をしているかどうか点数化すること)を政府に求めたり、国会議員に意見を書き送ったりすることなどがあります。

イギリス国民の回答者の 77%が、もっとはっきりした経済の情報を政府から得たいと思っているということが、調査からわかりました。今回のグッドマネーウィークにおいて、UKSIF は政府に Sustainable Spending Scorecard の導入を求めており、それは政府の支出をより透明化し、より環境や社会に配慮したものにするための要請であるとしています。

別の調査によると、18-24 歳のイギリス国民の回答者のうち、37%が銀行とは何かをよくわかっておらず、87%が「環境や社会に配慮した投資」について説明できなかったそうです。

グッドマネーウィークは、特に学生など若い人たちに対して、お金の使い方にどんな選択肢があるのかを知ってもらい、自分のお金が自分の望む領域にきちんと使われているのか確かめることの大切さを分かってもらうことを目指しています。

今後のイギリスの SRI が注目されます。

(グッドマネーウィークのホームページ : <http://goodmoneyweek.com>)